

ACTION



REAR VIEW リアビュー



AMS-129M ZEE ZULU

NEO ZEON MASS-PRODUCED AMPHIBIOUS MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMS-129M
 TOTAL HEIGHT : 20.3m
 WEIGHT : 28.9t
 GENERATOR OUTPUT : 2,470kw
 MATERIAL : TITANIUM ALLOY
 AND CERAMICS COMPOSITE
 ARMAMENTS :
 BEAM MACHINEGUN
 IRON NAIL
 HEAT KNIFE
 GRENADE LAUNCHER
 UNDERWATER EQUIPMENT

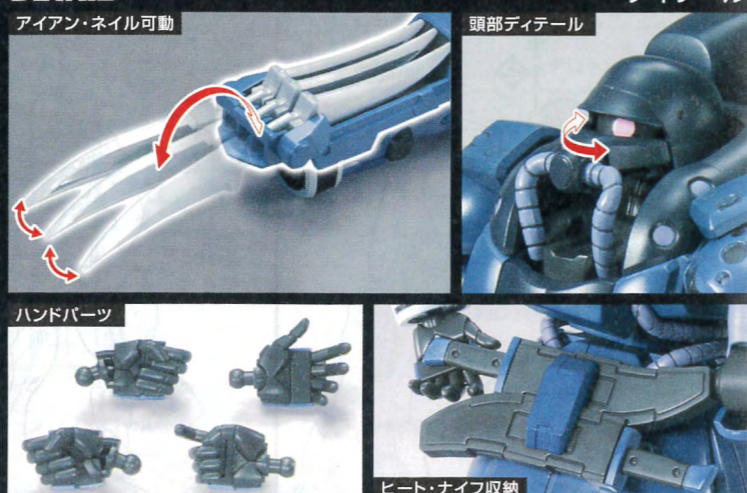


EQUIPMENT



装備一式

DETAIL



ディテール

AMS-129M ゼー・ズール

ゼー・ズールは『機動戦士ガンダムUC』に登場する水陸両用量産型モビルスーツである。U.C.0096、スペースコロニー（インダストリアル7）を襲ったテロ事件を契機に、地球連邦軍とネオ・ジオン残党軍「袖付き」による、宇宙世紀を揺るがすことされる「ラプラスの箱」を巡る戦いの火蓋が切られて落とされた。「トリントン基地応援を請う、こちら湾岸基地!」地球、トリントンに位置する湾岸基地。連邦軍から忘れられた軍事施設、という表現に全くの誇張すら感じさせぬ僻地。明確な敵が存在しないまま、軍属であることの意味が薄れてしまった人々が集う場所は、明確な復讐の念を孕んだジオン残党軍の手による戦場と化していた。庇護を受ける者と受けざる者の違いは、十数年の時を経てそれぞれが駆るMSの「力」という形で如実に現れる。旧型とはいえ適切な処置を受け、持つべき性能を余すところ無く示す連邦軍の機体に対し、もはや骨董品とも表現出来る、稼動していること自体奇跡的なジオン残党軍の更なる旧式機体が圧倒的優勢を保ちつつ侵攻を進めていく。その中には、真新しい「袖」を巻いた機体があった。増援として「袖付き」からジオン残党軍に与えられた（ゼー・ズール）は、性能差が意味を成さないこの戦場において、その法則を覆す程の最新技術を示し続ける。海から這い上がり、腰から抜き取ったヒート・ナイフと、前腕に備えられたアイアン・ネイルを前方に展開させた姿は、人型でありながら人型でない、まさに海の魔物を具現する異形のMSとなり、連邦の機体を恐怖の深淵に引き込むのだ——!!



●写真はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご確認ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。
 ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗料や溶剤のつけ過ぎに注意しましょう。特に、関節等可動部分、部品の着脱等のハメコミ部分に塗料や溶剤がつくと、破損したり、可動できなくなる恐れがあります。

●本体等: ニュートラルグレー (50%) +ブラック (25%) +ブルー (25%) +レッド (少量)	●頭部、水中用フィン等: ネービーブルー (60%) +ブラック (35%) +ブルー (5%) +レッド (少量)	●大腿部等: ニュートラルグレー (70%) +レッド (20%) +ブルー (10%)	●関節部、ビーム・マシンガン等: ブラック (60%) +ニュートラルグレー (30%) +オリーブドラブ (10%)
●腕部袖等: ブラック (100%)	●エングレーピング部等: ホワイト (100%)	●モノアイ等: ピンク (100%)	

1/144 SCALE

HG

UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search
 www.gundam.info
 /バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Feels inspired by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility. ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様の責任となります。

BANDAI 2011 MADE IN JAPAN ●写真の完成品は塗装してあります。

0171631



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

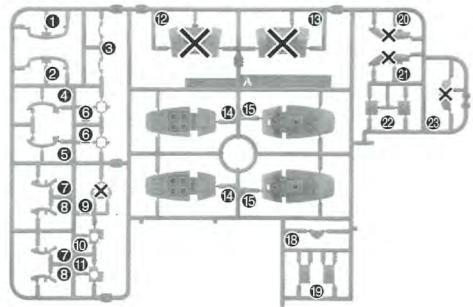
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

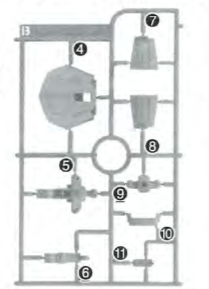
ア シールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付け	x2 部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます
反対側も同じように動かします	どちらかを選んで取り付け					

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

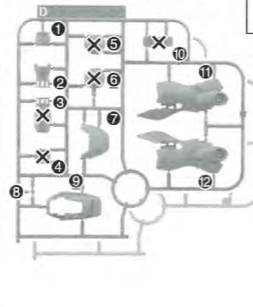
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



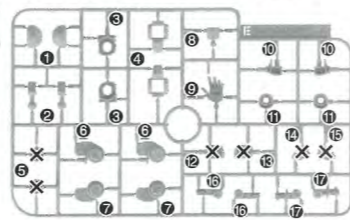
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (x2)
(スチロール樹脂: PS)



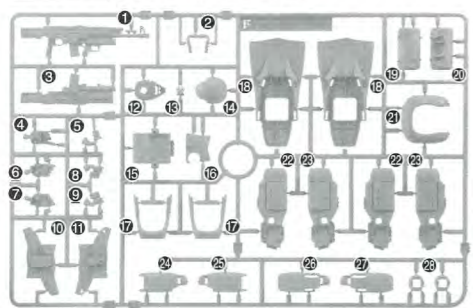
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



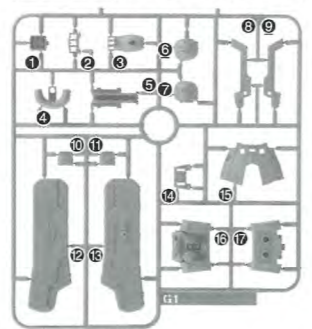
Hパーツ (x2)
(ABS樹脂: ABS)



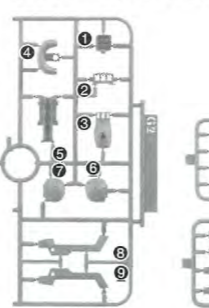
Fパーツ (スチロール樹脂: PS)



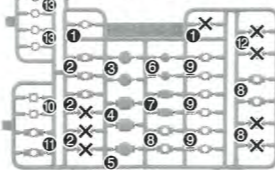
G1パーツ (スチロール樹脂: PS)



G2パーツ (スチロール樹脂: PS)



<PC-132ABC>
(ポリエチレン: PE)



● シール..... 1

1 x2 2個作る

2 G16, 1, PC6, E8, G17, B10

3 ※きれいに切り取ります。 F16

※シールはカラーページの写真を参考に貼ってください。

4 A18, F12, F14, F13, F2

※切り取らないように注意してください。

5 x2 2個作る (G26), G16, PC7, G17 (G27)

6 x2 2個作る PC10, A6, F28

7 x2 2個作る PC13, E11, E16, E17

8 x2 2個作る D2, A3, G13 (G23), PC6

9 x2 2個作る A19, A22

10 9, D1, F7, F9

11 E9, G10, D1, F8, F6

12 **4** で作った頭部

モノアイの可動

※ここを動かし
〈下から見た図〉

G14

3 で作ったボディ

G24

10 で作った右腕

11 で作った左腕

13 **x2** **2個作る**

D9

A15

A14 ※きれいに切り取ります。

※きれいに切り取ります。

E4

PC4

14 **x2** **2個作る**

D11

PC2

D8

D12

E2

PC8

(先に貼るシール)

23

G16

B6

24

23

G10

(シール)

25 ※きれいに切り取ります。

B1

(反対側に取り付ける)

B7

B8

(シール)

15 **x2** **2個作る**

(向きに注意)

! A8

14

! A7

(横から見た図)

(両側に貼るシール)

D7

16 **x2** **2個作る**

E3

PC13

E6

E7

17

PC3

(後に組む)

F4

PC9

E1

A11

F7

26

25 で作った腰部

(横から見た図)

20 で作った右脚

B9

(向きに注意)

18 で作った左脚

27

12

26

28 ※手首は外しておきます。

G11

F4

F1・F3

F5

(通んで取り付ける)

G10

G10

(組み付け位置)

18

17

16

15

13

19

PC3

(後に組む)

F25

PC9

F26

A10

E1

13

20

19

16

15

13

21

前

PC9

B6

PC1

PC9

B4

向きをかえます。

PC2

(先に組む)

22 (向きに注意)

! A4

(前から見た図)

A5

21

29 **x2** **2個作る**

PC9

F23

PC11

F22

(G21)

G11

(シール)

(スシール)

30 **x2** **2個作る**

※きれいに切り取ります。

F17

F18

31 (向きに注意)

! F20

F19

(シール)

32 **x2** **2個作る**

G12 (G22)

H2

H4

H3

H3

H4

H2

(G25)

G16

G18 (G28)

G19 (G29)

AMS-129M ZEE ZULU

第二次ネオ・ジオン戦争後のモビルスーツ開発は、多様な局地任務に則した専用機の開発に傾斜が著しく、大望を抱きつつも枯れた資源衛星に身を潜めていた彼らは、制約の鎖に縛られた中で自軍戦力を拡充せざるを得なかった。とはいえ、連邦軍に彼らを「袖付き」と広く仇名せしめる一因となった主力量産型モビルスーツ、AMS-129（ギラ・ズール）の総合性能は極めて高く、その機体コンセプトがジオン公国の名機（ザクⅡ）に近いものであったことから、例外的に（ギラ・ズール）をベースとした局地専用機の開発案が複数提示されたという。AMS-129M（ゼー・ズール）はその中のひとつであり、地球侵攻用に備えてAE（ア

アイアン・ネイル

前腕部へ左手のように装着される近接戦闘用装備。使用時は3本のブレードが前方に展開し、甲殻類の殻を想起させるシルエットを形成する。ヒート・ナイフ同様、刃のみに限定した発熱機構が採用されている。



ナハイム・エレクトロニクス）社へ委託開発させた水陸両用モビルスーツである。基本フレームはベース機体と同一だが、水圧軽減を図るための外装改修と、ジオン公国軍が培ってきた水陸両用モビルスーツの運用データを元に新開発した増加装備が加わり、長時間の水中行動と、水陸両向き高い機動性能を獲得した。水中での運用を前提とした武装類は、その独特な携行方法から本機のシルエットを人型から異形へと変質させ、往年の名機MSM-07（ズゴック）の後継機種であるかのような錯覚を引き起こす。U.C.0096年、地球上で活動するジオン残党軍を支援するべく派遣され、大型モビルアーマーMA-X7（シャムロ）らと陸戦に参加した記録が残されている。新旧の水陸両用機体によって彩られた戦場で、（ゼー・ズール）は最新鋭機体の矜持を示しつつ、一際大きく輝いていたという。



ビーム・マシンガン

シーリングされた銃器コンテナに収納された専用携行火器。銃身下部にアドオン方式のグレネード・ランチャーユニットを装着している。水中でのビーム収束率を高めた偏向射撃モードへと切り替えることが可能。



水中用装備

（潜水装置、バラスト・タンク、ハイドロジェット推進器、フィン）

ベスト形状の潜水装置、首周りに増設されたバラスト・タンク、背面のハイドロジェット推進器、爪先部分を覆うように装着する水中用フィンからなる水中運用能力を付加させる増加装備。推進器とフィンは潜水後にパージし、陸戦に対応した除装状態となる。



ヒート・ナイフ

セラミックス高分子化合物で形成された携行装備。ブレード部分が全体的に赤熱化する（旧来の方式とは異なり、戦闘時は刃部分のみが赤熱し、最小効率で最大の効果を発揮することが可能となった。通常時は腰部に配されたシース（鞘）に収納されている。

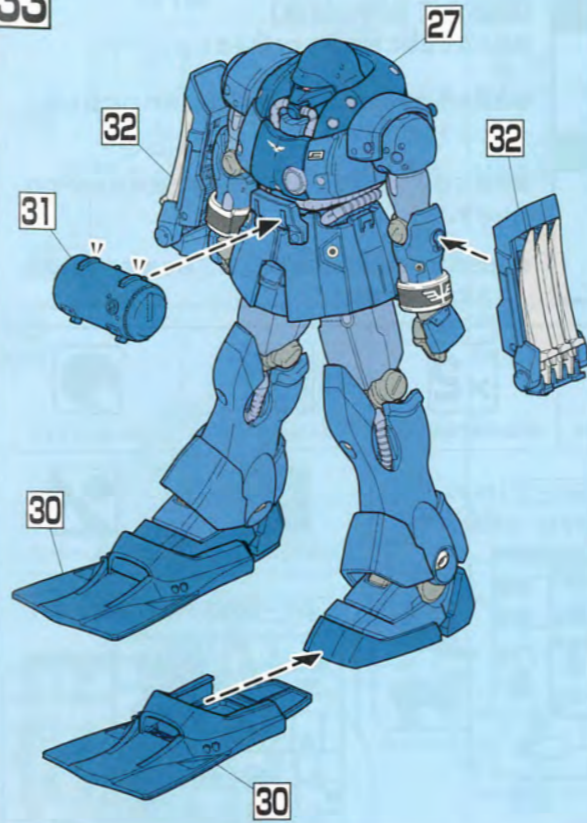


SPEC

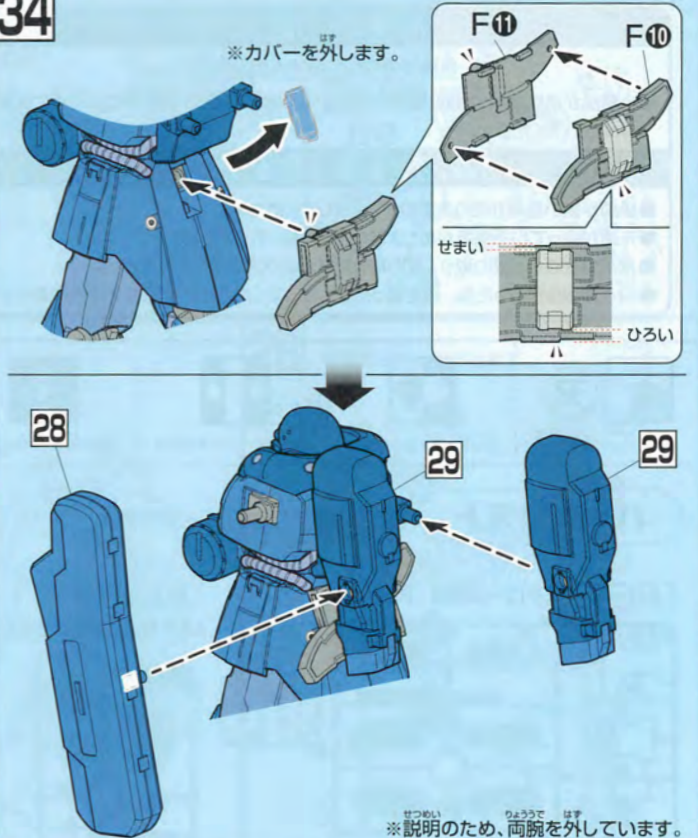
型式番号：AMS-129M
全高：20.3m 本体重量：28.9t
ジェネレーター出力：2,470kw
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
武装：
ビーム・マシンガン/アイアン・ネイル
ヒート・ナイフ/グレネード・ランチャー
水中用装備

●写真はバンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用しています。

33



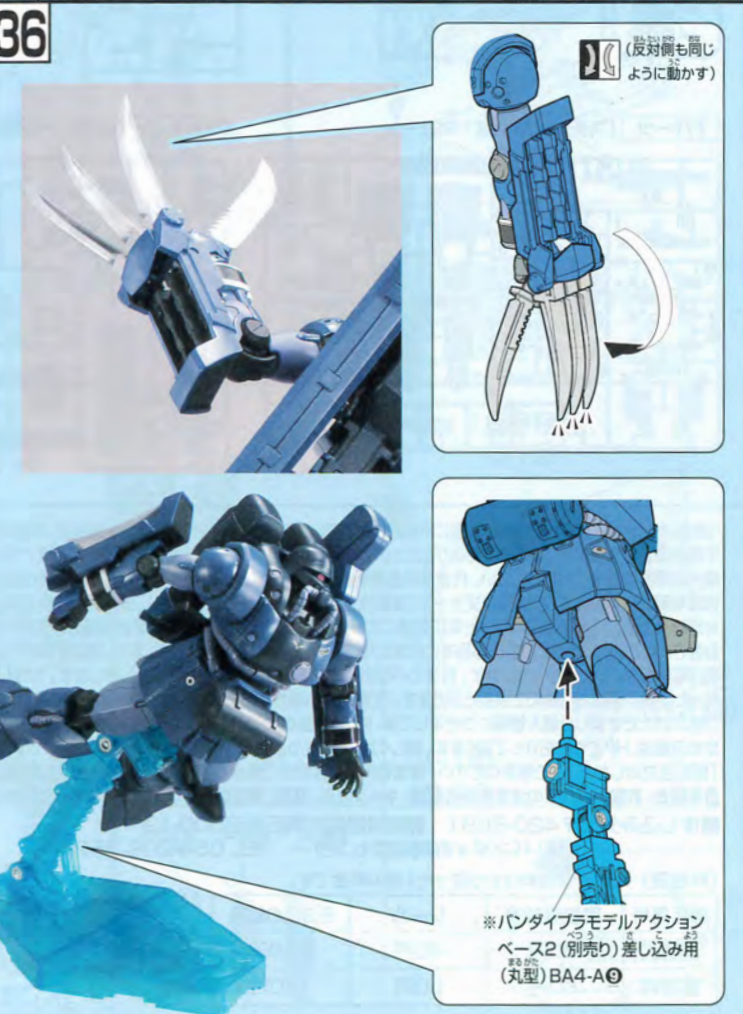
34



35



36



HGUC この商品には、「HGUC ゼー・ズール」宇宙から水中まで、ギラ・ズールの幅広い汎用性を体感せよ!!
シリーズラインナップ が1セット入っています。

MASS-PRODUCED TYPE
量産機

ギラ・ドーガの発展強化更新型。多種の仕様機が存在。

HGUC No.102 ギラ・ズール

ANGELO SAUPER USE
アンジェロ・ザウパー専用機

戦術隊長のアンジェロ用に強化された、紫基調の機体。

HGUC No.112 ギラ・ズール
(アンジェロ・ザウパー専用機)

GUARDS TYPE
戦術支援機

シナンジュとの連携のために開発された特別仕様機。

HGUC No.122 ギラ・ズール
(戦術支援仕様)

AMPHIBIOUS TYPE
水陸両用機

ギラ・ズールの水陸両用型。水中用の増加装備を装着する。

HGUC No.132 ゼー・ズール

データ運用

劇中で右の様な色の機体も存在する。この画稿を参考にカラー再現してみよう!

HGUC No.006 スゴック